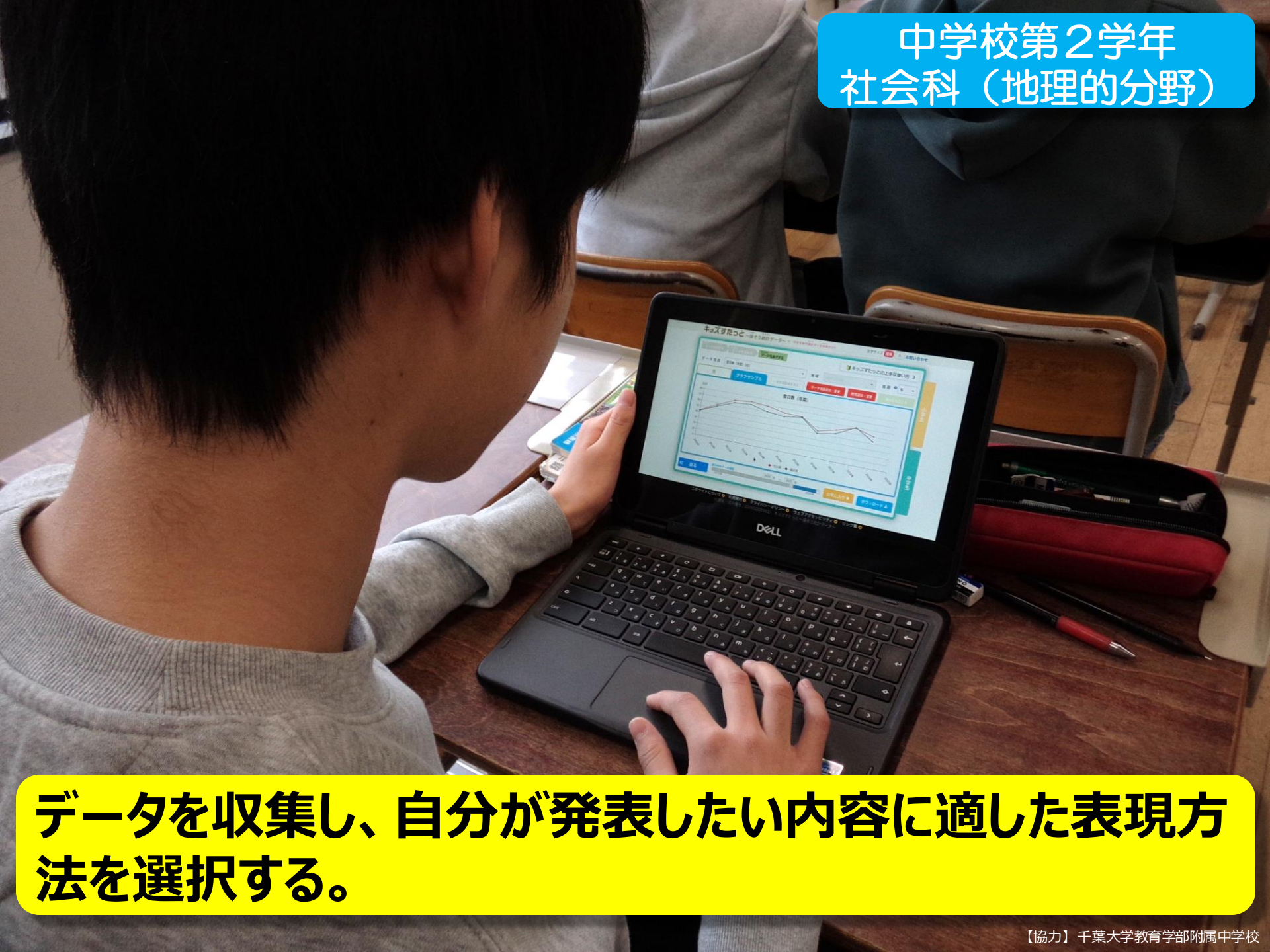


中学校第2学年
社会科（地理的分野）



データを収集し、自分が発表したい内容に適した表現方法を選択する。

A photograph of a classroom where students are working on laptops and papers. In the foreground, a girl with long dark hair and a face mask is looking down at her work. To her right, a boy in a blue hoodie is looking at a laptop. Other students are visible in the background, some wearing masks. The desks are cluttered with papers, books, and a small stuffed animal.

中学校第2学年
社会科（地理的分野）

自分が作成したシートの説明をし、その内容について意見を交換する。

中学校第2学年 社会科（地理的分野） 「日本の諸地域 中部地方」

■単元の目標

「中部地方では、なぜ各地に個性豊かな産業が発達しているのか」という問いに対して、地域の広がりや人々の対応などに着目して、自然環境や交通網、歴史的背景などと有機的に関連付けて資料を収集し、多面的・多角的に考察し、表現する。

■単元の概要

北陸・中央高地・東海の各地域は自然環境が異なり、大消費地との位置関係等を生かした産業が発達していることを、収集した資料を基にプレゼンテーションにまとめ、表現する活動を行う。

■単元の指導計画（4時間）

第1小単元

「中部地方をながめて」

- ・日本アルプスに着目して、中部地方の気候や人口、産業、交通網の概要を捉える
- ・単元の学習課題を確認し、知っていることや自分の予想を整理して学習の見通しをもつ

第2小単元

「中部地方で盛んな産業」

- ・グループごとに調査対象を決める
- ・グループ内で協働して調査し、調査結果をスライドにまとめる
- ・スライドに基づいてプレゼンテーションし、質疑応答を行う

第3小単元

「中部地方の特色をまとめよう」

- ・単元を振り返って中部地方の各地域に個性豊かな産業が発達していることについて、文章でまとめる

■小単元の概要

地形に関する地図や人口に関するグラフを基に、中部地方の地形の大きな特色として日本アルプスがあることに気づき、それにより気候が大きく三つに区分されることや人口が偏在していること、各地に個性豊かな産業が発達していることを知る。

北陸・中央高地・東海の第一次産業、第二次産業、第三次産業で九つのテーマを設定し、グループごとに分担して調査活動を行う。グループ内で協働して具体的な統計データを収集し、対象地域はどのような地域なのか、何の産業がどの程度盛んなのか、また、なぜその産業が盛んなのかを説明するためのスライドを作成する。他のグループに発表し、質疑応答を通して理解を深める。

各グループの考察で、産業が盛んな理由がどのような視点から説明されていたか整理する。発表内容を振り返り、中部地方の特色を文章でまとめる。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第2小単元）

【学習活動の場面】

グループごとに担当する地域や産業が決まり、教科書や資料集を基に、発表内容について調べ、まとめた。対象地域で盛んな産業を説明する際に、どこで、何が、どの程度盛んであるか、またその理由を調べ、地図や具体的な統計データを示した。

生徒Aは、対象地域の産業と地形との関わりについて担当し、**地理院地図を活用して地形を示した地図を作成**した。生徒Bは、対象地域で地場産業が発達した背景について担当し、自分で作成した**統計データを示しながら説明**した。

【子供の「深い学び」の姿】

生徒Aは北陸地域が日本海に面した山がちな地形をしており、冬の季節風の影響で雪が多くなることを分かりやすく伝えるため地理院地図で地形の起伏を示した地図を作成した。

生徒Bは北陸地域の地場産業が発達した背景に、雪日数が多く農閑期が生じているということを見出した。雪日数の多さを具体的に表現するため、総務省「キッズすたっと」から「雪日数」の統計を探し、**石川県と福井県の雪日数をグラフで表示**した。**自身の居住地域と比較すると**、北陸地域の雪日数の多さがより伝わりやすくなるのではないかと気づき、**千葉県の雪日数もグラフに表示**した。

これらの資料を基に、他のグループに対して発表を行った。発表スライドはクラウド上で参照することができ、必要に応じてスライドを見返しながら地域的特色について理解を深めた。

【当該指導での「深い学び」】

このグループは、北陸地域の地場産業が発達した要因を説明する際に、北陸地域の地形の特色や、北陸地域の雪日数を居住地域の統計データと比較することで説得力のある発表を行った。その結果、北陸地域における自然と地場産業との関わりについて理解を深めた。

【活用したソフトや機能】 Googleクラスルーム、Googleスライド、地理院地図Vector、キッズすたっと

■指導上の工夫とICTの利活用

①多様で大量の情報から適切な資料を収集・選択する。

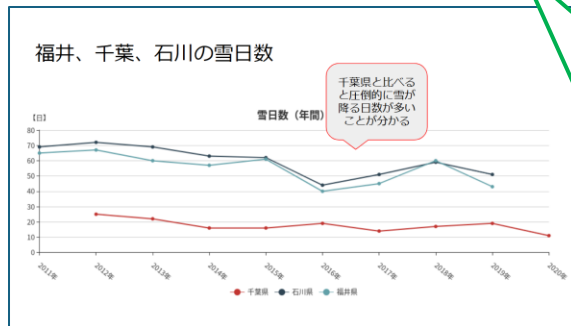
* 他の方の学習において資料から地域的特色に迫る手法を一斉指導で身に付けた上で、本単元では1人1台端末を活用して幅広い情報源から資料を収集し、その技能を身に付ける。

②地図や統計のサイトで表示させるデータをカスタマイズし、発表に適した表現方法を選択させる。

* データのカスタマイズによって地域間の比較から対象地域の特色を明確に示し、考察をより確かなものにしていく。

③クラウド上で発表スライドを同時編集や相互参照する。

* 時間的・空間的制約を超えて生徒の成果物を見られる状況を整え、教師が生徒の進捗を把握したり、生徒が理解を深めたりできるようにする。



学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第2章 各教科

第2節 社会 第2〔地理的分野〕

2 内容

C 日本の様々な地域

(3) ③ 産業を中核とした考察の仕方

ア(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的
特色や地域の課題を理解すること。

3 内容の取扱い

(2)

イ 地図の読図や作図，景観写真の読み取り，地域に関する情報の収集や処理などの地理的技能を身に付けるに当たっては，系統性に留意して計画的に指導すること。その際，教科用図書「地図」を十分に活用すること。